

地域支援だより



令和元年8月30日

第95号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

運動・姿勢に関する工夫

自分の力で筆を持ち、色を塗ったり、描線したりするための支援

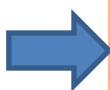
～しょげんたい書見台をバージョンアップ～

右半身にまひがあり、姿勢保持装置で学習する生徒が、自分の力で書いたり、絵を描いたりするために、本校教師の自作教具「書見台」を使用しています。

今回は、生徒の「一人で書きたい」「自分でやりたい」という意思を尊重して、書見台をバージョンアップした事例を紹介します。



これまでの書見台



左手(利き手)側にパレット、資料等の固定板を設置

新しい書見台



垂直に近い角度にできるように安定性を工夫

新しい書見台は、生徒の見やすさと利き手の可動範囲に合わせて、作業板を垂直近くまで起こすこと、左側（利き手側）に作業スペースを配置し、自分で見本と比べたり、パレットの色を選んで筆につけたりといった自分でできることを増やすことを優先して製作しました。一定時間一人で描画に取り組むなど自分でできることが増えて、自立感と満足感を感じられる形にバージョンアップすることができました。

使用に関しては、作業療法士の助言を受けて、身体の機能を高める（維持する）ために、書見台を生徒の右寄り（利き手の反対側）に配置し、腕を伸ばして書く機会も設けることにしました。（【右写真】この場合は、生徒の上半身を支える等の教師の援助が必要）

「自分でできる」と「身体機能を高める」のバランスが、生徒の身体の動きの維持増進のために、とても大事であると言えます。

この事例の生徒は平成31年3月に高等部を卒業し、現在、絵画・造形の制作活動がある進路先で、この書見台を用いて活動しています。このように、有効な自作教具は進路先への「生徒の運動・姿勢」の移行支援にもつながると考えます。

（文責：自立活動部主任 佐藤篤）



実践紹介③ 知的代替の各教科等を学習するグループ

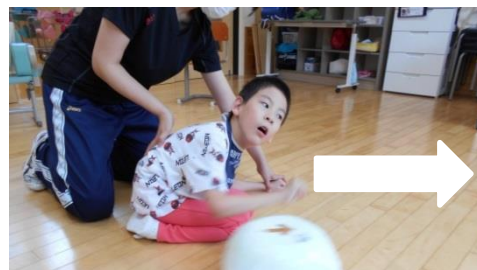
【小学部】体育 赤白カーリング



運動会で、小学部全員で取り組めるように考案した競技です。
キャスターをつけたストーンを児童が押して、高得点のエリアを目指します。
ストーンは洗面器とキャスターを使って教師が作りました。
赤白カーリングでの姿勢の工夫と支援について紹介します。



①姿勢が崩れ、力が後方に逃げてしまう



②前傾姿勢を保ち、しっかりストーンを押し出している

①では、押す力が後方に逃げてしまい、ストーンが少ししか進みませんでした。
そこで②のように、教師が背中を支えて力が逃げないようにすること、ストーンを押さない方の手（左手）を身体の前に置いて前傾姿勢になるように支援することで、押す力が逃げずに、遠くまでストーンを押し出すことができるようになりました。

教育専門監のコーナー

《子どもが分かって動ける授業づくり》

大切にしているのは主体的、対話的、深い学びの実現

【主体性を育む「授業づくり」、五つの観点】

- 目標・内容をより高くより広くする
- 学びの機会・活動量を増やす
- 主体的な参加を促進する
- 充足感・満足感・達成感を生み出す
- 興味・関心を引き出し育む

【自発を促す「授業支援」、三つの観点】

- 物理的支援環境の整備
- 個のニーズに応じた支援の充足
- 人的支援環境の見直し

【豊かな学びの機会を生む「授業展開」、四つの観点】

- 十分な参加機会
- 豊かな学習機会の設定
- 豊富な人とのやり取り
- 多様・多重な評価

参考文献：「子どもが分かって動ける授業づくり」藤原義博

児童生徒一人一人の主体的、対話的、深い学びの実現に向け、秋田きらりでは、一人一人の「分かる」「できる」を大切に学習を進めています。全ての児童生徒が「分かって動ける」授業を目指し、個々の教育的ニーズに目を向け、一人一人の理解や技能、障害特性に応じて「支援ツール」を提案しています。また、個々の学習環境に目を向け、先を見通して自ら学習を進められる「手がかり」を配置しています。さらに、教師による授業支援に目を向け、子ども自身が自ら気付いて動いたり、互いに伝え合ったりする機会と相手に対して適切な支援を求める機会の設定を心掛けています。児童生徒は、授業における自分の力で筆を持ち、色を塗ったり、描線したりするための支援や体育におけるストーンを投げるための支援により、もてる力を十分に発揮しながら、主体的、対話的、深い学びを実現していきます。

〈文責：二階堂 悟〉



◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。

教頭 兜森 宏征 地域支援部主任 大友 明希子

住所：〒010-1409 秋田市南ケ丘1丁目1番1号

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575



「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>